



第 34 回 国民文化祭・にいがた 2019

第 19 回 全国障害者芸術・文化祭にいがた大会 プレイベント

子どもと夢の世界

～日本のアンデルセン・小川未明、日本童画の父・川上四郎～



2018年4月27日(金)～6月24日(日)

開館時間 10:00～18:00 (入館は17:30まで)
休館日 月曜日(4月30日(日)は開館)、5月1日(火)
入館料 一般500円、学生〔高校生以上〕300円、
子ども〔中学生以下〕無料
※20名以上の団体は、各料金から2割引き

会期中の土日祝
子どもと一緒に
入館する大人は
割引料金に!

主催 にいがた文化の記憶館、新潟日報社、
新潟県文化振興財団
共催 新潟日報美術振興財団、NIST、BSn新潟放送
後援 新潟県
協力 田村紙商事株式会社
小川未明文学館(上越市)、新発田市・落谷虹児記念館、
湯沢町教育委員会、湯沢町歴史民俗資料館「雪国館」



にいがた
文化の記憶館

新潟日報メディアシップ5F
TEL.025-250-7171

子どもと夢の世界

～日本のアンデルセン・小川未明、日本童画の父・川上四郎～

新潟県内各地には、古くからの民話が多く残っています。このことは、新潟に語りの文化が深く根付いていることを示しています。

近代に入り、子ども向けの文学が「おとぎ話」から「童話」に変化する過程で重要な人物が、「日本のアンデルセン」「日本児童文学の父」と呼ばれる上越市出身の小川未明(1882～1961年)です。未明は44歳のとき、「自分は何時までも子供でありたい。たとへ子供であることが出来なくても、子供のやうに楽しい感情と、若やかな空想とをいつまでも持つてみたい」と宣言し、生涯を童話作家として捧げる決心をして多くの作品を残しました。

未明が作品を発表した児童雑誌では、童画という新しいジャンルの絵も隆盛しました。そこで活躍したのが、長岡市出身の川上四郎(1889～1983年)です。川上は東京美術学校(現東京藝大)で藤島武二に師事し、卒業後は中学校教師を経て、児童雑誌で活躍する童画界の第一人者となりました。戦争中、湯沢町に疎開して以来、永住の地と定め、豊かな自然の中で童画を描き続けました。

現在、子どものための文学は児童文学と呼ばれ、ティーンズノベル、ライトノベルなど近接する分野が広がっています。またこうしたジャンルから直木賞作家を輩出するなど、一般小説との垣根もなくなりつつあります。こうした文化の源でもある新潟の語りの文化を見直し、新潟人が作り出した児童文学、童画の「夢の世界」をお楽しみください。



① 川上四郎『砂山川』制作年不明 湯沢町寄託
 ② 「お話の木」1巻3号表紙 1937年 小川未明文学館蔵
 ③ 「お話の木」2年1号表紙 1921年 小川未明文学館蔵
 ④ 川上四郎『おとぎ話』1952年 湯沢町寄託

関連イベント

月いちレクチャー特別編 方言で越後の民話を楽しもう!

日時 | (1)4月28日(土)、(2)5月26日(土)、(3)6月23日(土)

各回とも、午後2時～午後3時(予定)

語り部 | むかし話語り部「チェリー婆」

(五十嵐絹子さん、松川美恵子さん)

会場 | 当館 展示室内

参加費 | 無料(当日の入館券が必要)

※パスポート会員は無料。受付で会員証をご提示ください。

定員 | 50名 ※先着順のため、定員に達し次第締め切ります。

内容 | (1)4月28日(土)

- ・「珍しい鳥」(新潟市=旧横越町)
- ・「ピンチョロリン」(阿賀野市)
- ・「三枚のお札」(阿賀野市)
- ・「食わず嫁さ」(湯沢町)
- ・「なまずの裁判」

(2)5月26日(土) ※変更することがあります。

- ・「山伏とキツネ」(新潟市=旧横越町)
- ・「カッパがくれた秘密の薬」(阿賀野市=旧京ヶ瀬村)
- ・「法印様と医者どんと軽業師」(新潟市=旧横越町)

(3)6月23日(土) ※変更することがあります。

- ・「十二支の始まり」(上越市)
- ・「肝試しに出かけたあねさ」(新潟市=旧横越町)
- ・「へそ取り」(新潟市=旧横越町)

【お申し込み方法】

メール、FAX、往復はがきのいずれかに「①参加希望日、②住所、③氏名、④電話(FAX)番号」をご記入のうえ、以下の宛て先までお送りください。当館ホームページのお問い合わせフォームからも申し込むことができます。

〒950-0088 新潟市中央区万代3-1-1 新潟日報メディアシップ5階
 FAX 025-250-7040 / E-MAIL: kiokukan@honey.ocn.ne.jp

EVENT INFORMATION

にいがた文化の記憶館 × おとブラ倶楽部 神林恒道館長 特別講座 芸術学アラカルト～西欧版 奇想の系譜

講師 | 神林 恒道(にいがた文化の記憶館館長)
 開催日 | ②5/10(土) 悪魔的天才と呼ばれた画家 カラヴァッジオ
 ③5/24(土) パベルの塔をイメージした北方の画家 プリュージェル
 ④6/7(土) ナッシングの風景画家 ターナー
 ⑤6/21(土) ジャポニスムの画家として ゴッホ
 ⑥7/3(土) 前衛の女性画家 ローランサン
 ※各回とも、午後2時～3時30分(予定)

会場 | 新潟日報メディアシップ 2階 日報ホール
 参加費 | 各回1,000円(当日受付にてお支払いください)
 ※おとブラ倶楽部会員の方は割引
 (当日受付にて、おとブラ倶楽部会員証をご提示ください)

定員 | 150名 ※先着順、要事前申し込み

締切 | 各回とも開催日の1週間前まで

お申し込み先 | メール、FAX、往復はがきのいずれかに「①氏名、②電話(FAX)番号、③参加人数」をご記入のうえ、にいがた文化の記憶館まで。

※ 展覧会名やイベント名は仮称です。会期や事業の内容などは変更することがあります。

次回の企画展示

佐渡の能楽と世阿弥 吉田東伍の世阿弥発見
 会期 2018年7月6日(土) - 9月2日(日)

會津八一記念館のご案内

文人と詩書画一致のモダニズム
 会期 2018年4月10日(土) - 6月17日(日)

NMMC にいがた文化の記憶館

〒950-0088 新潟市中央区万代3-1-1
 新潟日報メディアシップ5階
 TEL. 025-250-7171 FAX. 025-250-7040
 URL: http://nmmc.jp

～ご来館のお客様へ～

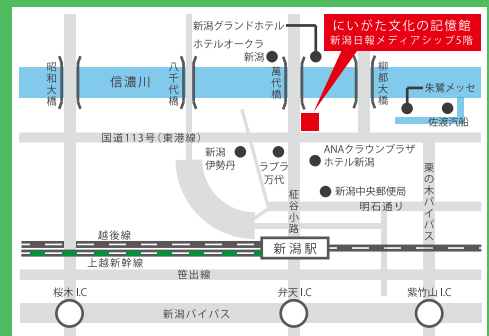
開館時間(10:00～18:00、月曜休館)
 以外は、新潟日報メディアシップのエレベーターは5階に止まりませんので、ご注意ください。

■ 交通のご案内

新潟駅から タクシー約5分 徒歩約15分
 新潟空港から タクシー約15分

■ 駐車場のご案内

メディアシップ駐車場(24時間)
 220円/30分(夜間最大料金あり)
 時間貸しスペースは3、4階(77台)です。
 万代シティ共通駐車サービス券をご利用いただけます。
 当館では駐車券の無料券を発行していません。予めご了承ください。
 周辺には、万代シティ駐車場、朱鷺メッセ駐車場などもございます。



割引券
 一般、学生、高齢者、障害者、団体、各種団体、各回別料金
 ※お申し込みと併せてお申し込みください
 ※他の割引との併用不可
 (印刷不可) WEB版